

東通村診療所に新しい医師・研修医が来ました！



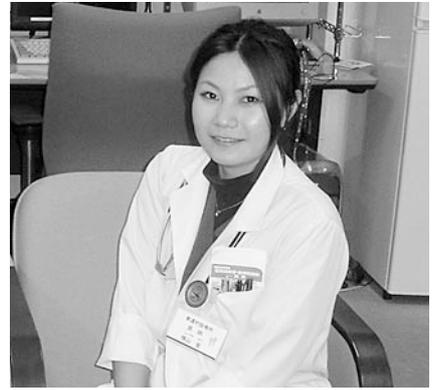
東通村診療所に5月1日より、横山 愛 (よこやま あい) 医師がいらっしゃいました。

横山先生は、昨年11月1日から1ヶ月半の研修を東通村診療所で経験されました。

寒いところが苦手な横山先生は、前回は初めての青森上陸だったようですが、今回もまた横須賀市立うわまち病院から、東通村診療所

に来て下さいました。

先日こちらにいらして、さっそく弘前の桜を見て、とても感動したとのこと。5・6・9月の3ヶ月間滞在となります。「春～初夏の青森で働くのを楽しみにしていました。後輩の湯川先生と頑張りますので、宜しくお願いします」と横山先生からのご挨拶でした！(^ ^)!



5月1日より、湯川 高寛 (ゆかわ たかひろ) 医師が研修医として東通村診療所にいらっしゃいましたのでご紹介します。

湯川先生は東京都のご出身で、東京・イギリスで育ったそうです。東京医科歯科大学卒業、現在は横須賀市立うわまち病院に所属しております。今回は6月15日までの研修のため、いらっしゃいま

5月9日から6月4日まで、佐藤 諭 (さとう さとし) 医師が研修医としていらっしゃいました。

佐藤先生は生まれも育ちも、青森県深浦町で、弘前大学出身、現在はむつ総合病院に所属しております。

趣味はマラソンと釣り、特技は走ること。休みの日の過ごし方は、「妻に会うため弘前に帰っています」とのこと。それ以外はランニングをして気分転換をしているそうです。

医師を目指すきっかけになったのは、地元で医師が少なく、みんなが喜ぶと思ったから。仕事が出来ない研修医に対しても患者さんが『ありがとう』と言ってくれる時

た。

特技はバスケットボール、趣味は運動で、毎日10～15km 朝ランニングしているそうです。小学校の頃は太っていましたが、バスケット部に入ったらやせたとのこと。大学時代は競技スキーに精を込めて取り組んでいたとのこと、スポーツマンな先生です。

休日は横須賀から都内に上京して遊んでいるそうです。

医師を目指すきっかけになったのは、病気を生まれながらに持っている小児患者を助けたいと思ったから。医師になって良かったと思う時は、一生懸命治療したが、残念ながら亡くなられた患者の遺族の方から感謝の言葉を頂いた時。

医師になって良かったと思うそうです。

やりがいを感じる時は、自分が行った行為で患者さんが元気になっていく姿を見た時。

将来は地元の近くで働きたいと考えている、地元を愛している素敵な先生です。

東通村を研修先とした理由は、昨年、東通村で研修した先輩の報告会を聞いて、自分も実際に経験したいと思ったから。「診療所に求められるニーズをしっかり把握したい」と抱負を述べて下さいました。

研修にあたって不安なことは、車を持っておらず、東通村の地理に詳しくないのが心配だそうで、

治療が奏功して患者がよくなっているのを見る時やりがいを感じるそうです。

「最終的には小児科に進みたい。その前に、自分の能力を高めるために総合診療をしっかりと勉強したい」と将来の目標を話して下さいました。

東通村を研修先とした理由は、『将来の目標』に挙げた内容が実行できるかもしれないと考えたから。研修にあたって心配なことや不安なことは現時点では特にありません、とのこと。「1ヶ月半と短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願い致します」と湯川先生からのご挨拶でした！(^ ^)!



時間のあるときに村内を走って寝たいとおっしゃっています。

「医師になって日が浅く、まだまだ未熟者ですが、1ヶ月間宜しくお願いします」と東通村のみなさまへメッセージいただきました。

村内を走る先生の姿をみかけたら、声をかけてくださいね～！！